

伴走支援事業者とのマッチング機能を追加し、自治体の選択肢を拡大

現在の官民マッチング

- ①自治体が地域課題を掲載。
- ②掲載された地域課題を企業等が閲覧し、解決策を提案。
- ③自治体が解決策を提案した企業等に連絡。

マッチング成立 (= 意見交換の実施)



課題

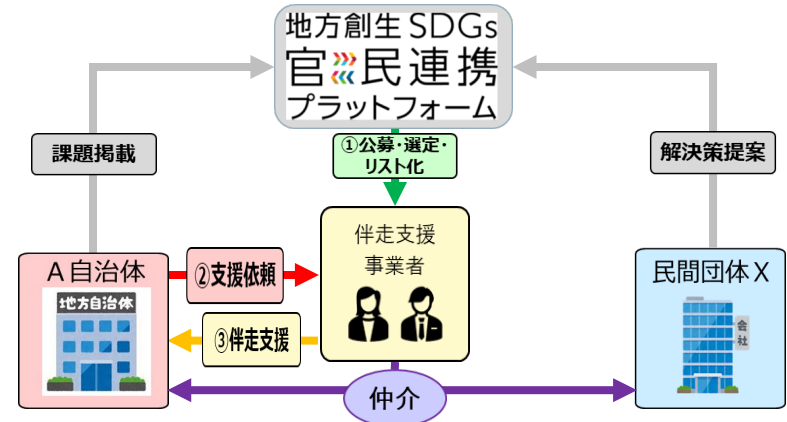
- 課題の適切な把握・整理、課題掲載に係る庁内調整
- 企業等からの提案募集に向けた課題掲載文の作成
- 事業者選択、資金調達等に関する自治体の知見不足
- 議会承認等の自治体事情に関する企業等の知見不足

課題掲載文の作成、連携事業者選定、資金調達、契約等に関する自治体への支援が不足

R6.2月
追加済

伴走支援事業者とのマッチング

- ①プラットフォームが「伴走支援事業者」をリスト化。
- ②自治体が、「伴走支援事業者」に支援を依頼。
(= 伴走支援事業者とのマッチング)
- ③伴走支援事業者が、課題整理・言語化、計画策定、資金調達、連携事業者紹介等を支援。



改善

- 課題整理から、事業者選択、資金調達、契約まで支援
- 予算化等の前から、計画策定、課題解決に着手
- 事業構築の効率化、施策効果の最大化を促進
- 先行事例、企画・計画策定、課題解決ノウハウの習得

マッチング機会の拡大に加え、プラットフォームを起点とした官民連携の拡大を図る